

掲載日	令和4年11月13日 (日)	新聞	琉球新報	朝刊	市町村
課室名	海外・ビジネス支援課	関係事業	海外事務所等活動支援事業		



韓国・ジョンバル高校とオンライン交流をする本部高校生ら
10月21日、本部高校

本部と韓国 祭りや食紹介 高校生がオンライン交流

【本部】本部高校と韓国・ジョンバル高校は10月21日、沖縄コンベンションビューローと馬頭青少年修練館（韓国）の仲介でオンラインを活用した国際交流を実施した。互いの国や地域の言語、文化の違いに触れることで国際相互理解につなげることが狙い。

本部高校と韓国の学生の交流は2018年以来で4年ぶり。本部高校2年生10人と韓国・ジョンバル高校の2年生20人が参加した。

はじめに双方の自己紹介を行った後、本部高校からは学校の紹介や学校生活についての説明があった。また本部町の食事や食べ物、祭り、観光施設などについて韓国語で紹介した。韓国の生徒は、学校や制服、食文化などについて日本語で説明した。

初めは緊張した面持ちだったが、言葉が通じた時やお互いの共通点に気付いた時などは歓声が上がった。喜納愛紗さん(17)は「交流授業であまり壁を感じなかった。韓国が好きになった」と話した。

(上間宏通信員)



韓国・ジョンバル高校とオンライン交流をする本部高校生ら
10月21日、本部高校

本部と韓国 祭りや食紹介 高校生がオンライン交流

【本部】本部高校と韓国・ジョンバル高校は10月21日、沖縄コンベンションビューローと馬頭青少年修練館（韓国）の仲介でオンラインを活用した国際交流を実施した。互いの国や地域の言語、文化の違いに触れることで国際相互理解につなげることが狙い。

本部高校と韓国の学生の交流は2018年以來で4年ぶり。本部高校2年生10人と韓国・ジョンバル高校の2年生20人が参加した。

はじめに双方の自己紹介を行

った後、本部高校からは学校の紹介や学校生活についての説明があった。また本部町の食事や食べ物、祭り、観光施設などについて韓国語で紹介した。韓国の生徒は、学校や制服、食文化などについて日本語で説明した。

初めは緊張した面持ちだったが、言葉が通じた時やお互いの共通点に気付いた時などは歓声が上がった。喜納愛紗さん(17)は「交流授業であまり壁を感じなかった。韓国が好きになった」と話した。

(上間宏通信員)

2022年 11月 13日 (日)
류큐신보(新聞新報)

모토부와 한국, 축제와 음식 소개
고등학생 온라인으로 교류

모토부 고등학교와 한국, 정발고등학교는 10월 21일, 오키나와 컨벤션 뷰로와 마두청소년수련관(한국)의 중개로 온라인을 활용한 국제교류를 실시했다. 서로의 나라와 지역의 언어, 문화의 다름을 접함으로써 국제상호이해에 연결하는 것이 목적.

모토부 고등학교와 한국 학생의 교류는 2018년이래 4년만에 진행되어, 모토부 고등학교 2학년 10명과 한국 정발고등학교 2학년 20명이 참가했다.

처음에는 서로 자기소개를 한 후, 모토부 고등학교는 학교의 소개와 학교생활에 대해 설명했다. 또 모토부초의 식사와 음식, 축제, 관광시설 등에 대해 한국어로 소개했다. 한국의 학생은 학교와 교복, 식문화 등에 대해 일본어로 설명했다. 처음에는 긴장한 듯 보였지만 언어가 통했을 때, 서로의 공통점을 찾았을 때 등은 환호성이 들리기도 했다.

키나 아이샤(17세)는 [교류수업에서 크게 벽을 느끼지 못했고 한국을 좋아하게 됐다]라고 전했다.

(사진)

한국,정발고교와 온라인 교류를 하고 있는 모토부 고등학생들
10월 21일 모토부고교